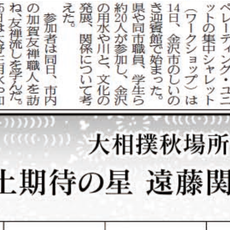

夫婦愛感動広げ

北國新聞交流ホール・香林坊大和　石原裕次郎展にぎわう

まき子さんの婚礼衣装に見入る来場者＝金沢市の香林坊大和

金沢市の北國新聞交流ホールと香林坊大和で開催中の北國新聞創刊120周年記念「昭和の太陽 石原裕次郎展」（香林坊ルネッサンス実行委員会、本社主催）は14日、会期中初の週末を迎え、ファンらが次々と訪れた。展示品には裕次郎さんと妻まき子さんの夫婦愛をしのばせる品も多く、会場に感動を広げている。

着物や手紙並ぶ

香林坊大和8階ホールには、まき子さんの婚礼の着物が1960（昭和35）年の挙式以来、初めて公開され、来場者はスター同士の結婚に沸いた当時を懐かしんだ。

北國新聞交流ホールで注目を集めたのは、裕次郎さんが、まき子さんに送った手紙。気に入った英語のラブソングを、まき子さんにも覚えてもらおうと、カタカナを振って渡しており、妻にこまやかな愛情を注ぐ裕次郎さんの優しさがにじむ。

公開された、裕次郎さんが、まき子さんに送った手紙＝北國新聞交流ホール

津幡町の岩井稔さん(71)は「丁寧できれいな字に驚いた。実直で頭のいい人だったのだと思う」と話した。

24日まで。入場料は2会場共通で大人千円、中学生以下500円。問い合わせは北國新聞社営業局ネット企画部＝076（260）3454＝まで。

高さ日本一　キリコ練る

珠洲・須須神社秋祭り

境内に勢ぞろいした4基の巨大キリコ＝14日午後9時50分、珠洲市三崎町寺家の須須神社

珠洲市三崎町寺家の須須神社の秋祭りは14日行われ、高さ日本一とされる16・5㍍の巨大キリコが勇壮に町内を練り、住民や観光客を魅了した。

塩津上野組、下出組、川上本町組、大浜組の若衆が午前中に神社でキリコを準備し、各地区に移動させた。午後9時50分ごろ、キリコ4基が再び神社に集まり、神輿とともに町内を巡行した。

同日、市やNPO法人能登すずなり（同市）などが連携し、市内宿泊施設から秋祭り会場へ送迎バスを初めて運行した。射水市や静岡県富士宮市などからの観光客14人が観光ボランティアガイドとともに寺家、上戸、正院の3地区を回り、能登の祭りを満喫した。

デスク日誌

東京五輪で土俵入り

今月初め、東京でデートを楽しんだ。相手はきょう幕内デビューの遠藤。ランチに誘うと「気分はうなぎ」と言うので、スカイツリー内のレストラン街に出掛け、力士御用達の小物店が並ぶ両国界隈もそぞろ歩いた。

「横綱候補」と呼ばれる角界のホープである。大混雑のスカイツリーでは、通行人に気付かれて取り囲まれるのではと心配したが、遠巻きに見る人がちらほら見受けられただけ。「そんな有名人じゃないです」と遠藤は笑いながら、特上うな重を豪快に平らげた。

このままスピード出世が続けば、人気もうなぎ上り間違いなし。すでに周りから「スキャンダルには要注意」と忠告されているが、それこそ気軽にデートさえできない状況となるだろう。

身の回りの環境が一変しても、惑わされずに突き進めば横綱の道もそう遠くない。2020年東京五輪の開会式では、横綱遠藤の土俵入りを見たいと勝手に思い描いている。（杉山圭一郎）

ワイド石川

袴や浴衣姿で　笠踊りや手踊り

城端むぎや祭幕開け

南砺に秋の到来を告げる第63回城端むぎや祭（北國・富山新聞社共催）は14日、南砺市城端市街地で開幕し、袴や浴衣姿の男女の踊り手が、哀調を帯びた麦屋節に合わせ、笠踊りや手踊りを披露した。

街並み踊りは瑞泉寺前など5会場で行われ、9町内の踊り団体などが出演した。城端別院善徳寺の大規模改修に伴い、昨年まで本堂に置かれた特設舞台が山門前に移された。

北國リビング新聞社などが主催したバスツアーは石川県内各地から参加があり、むぎや情緒を楽しんだ。

最終日の15日は午前8時半から麦屋節コンクール全国大会（同）がじょうはな座で開かれ、午後から街並み踊りや競演会、夜にパレード踊りや総踊りが行われる。

幻想的 夜のイルカショー

のとじま水族館　立ち見の人気

のとじま臨海公園水族館（七尾市）の夜間開園「夜の水族館」は14日、同園で行われ、2372人の来場者が夜空に向かってジャンプするイルカのショーや、幻想的にライトアップされた水槽を眺め、生物の「夜の顔」を楽しんだ。

ライトアップされたトンネル水槽「イルカたちの楽園」では、観光客が輝く水の揺らめきを楽しんだ。イルカショーは立ち見の客が出るほど人気で、愛らしいイルカの姿に大きな拍手が送られた。夜に発光するサンゴやマツカサウオなどの鑑賞会も開かれた。

同園は今後、利用客の反応や展示生物の影響などを確認し、来夏の本格導入を計画する。「夜の水族館」は21日も実施される。

夜空に向かってジャンプするイルカのショーを楽しむ来場者　＝七尾市ののとじま臨海公園水族館

秋のナイトズーで　プラネタリウム

いしかわ動物園

いしかわ動物園（能美市）の「秋のナイトズー2013」は14日始まり、初日は工房ヒゲキタの北村満さん＝金沢市＝が制作したプラネタリウムの上映会が開かれた。

来園した親子は、直径約5・5㍍のドームに映し出される夏の星空や立体的に見える影絵を満喫した。15日も上映される。

秋のナイトズーは今後、15、21、22日、10月12、13日の5日間行われ、午後9時まで開園する。入園は同8時まで。21、22日には小松市の那谷寺清水基金の北川毅さんがオカリナなどを演奏する。

白山麓100㌔　3日で移動

初のジオトレイル幕開け

白山麓初のロングトレイルレース「白山ジオトレイル2013」（本社後援）は14日、白山市の白山比咩神社を出発点とする約100㌔のコースで始まった。初日は9都府県の17人が豊かな自然を楽しみながら走ったり歩いたりし、41㌔移動した。

レースは白山比咩神社から同市白峰の林西寺まで3日間かけて移動する。参加者は獅子吼高原に登った後、河内地区に抜け、1日目のキャンプ地である吉野谷地区の瀬波川キャンプ場に到着した。

延長100㌔のレースのスタートを切る参加者＝白山市の白山比咩神社駐車場

白山比咩神社での開会式では赤坂剛史実行委員長があいさつ。作野広昭市長が祝辞を述べた。初めてロングトレイルレースに参加した南信明さん(47)＝小松市河田町＝は「美しい景色を楽しみ、3日間頑張りたい」と話した。今回は来年9月に開催する250㌔大会のプレ大会と位置付けて実施された。

初秋の能登路駆け抜け

ツール・ド・のと開幕

内灘―輪島　802人　銀輪連ねる

銀輪を連ねて能登路を疾走する参加者＝輪島市門前町の総持寺通り

「第25回ツール・ド・のと400～能登半島一周サバイバル・サイクル2013～」（同実行委、北國新聞社主催、県自転車競技連盟共催）は14日、内灘町の県立自転車競技場を発着点に3日間の日程で開幕した。全国各地から集まった自転車愛好者802人が潮風に吹かれながら初秋の能登半島を北上し、初日のゴールとなる輪島市の輪島港マリンタウンに到着した。

厳しい残暑の中、参加者は銀輪を連ねて千里浜なぎさドライブウェイなどを望む海岸沿いのコースを疾走した。県立自転車競技場から120・7㌔離れた輪島港マリンタウンには、参加者が午後3時ごろから次々と到着し、家族や仲間が手を振って迎えた。

今大会には35都道府県から7～83歳の1226人がエントリーし、初日は3日間で全長406㌔を走破するチャンピオンコースに461人、内灘―輪島を走る1日コースに341人が出場した。

開会式では山本正美北國新聞社事業局長があいさつし、川口克則内灘町長、綏詰潔県自転車競技連盟会長が激励。第25回大会を記念して20回以上の出場者41人に大賞メダルが贈られ、選手を代表して米沢ひろみさん(70)＝金沢市＝が受け取った。

15日は輪島市から珠洲市などを回って七尾市の能登島に向かう。

ゴール会場で熱々つみれ汁　メギス70㌔用意

ゴール会場の輪島港マリンタウンでは、熱々のメギスのつみれ汁が振る舞われ、出場者が疲れた体を癒やした。

地元輪島港で水揚げされたメギス約70㌔が用意され、輪島市職員が調理した。

参加者に振る舞われた熱々のつみれ汁＝輪島市の輪島港マリンタウン

いわきから出場　復興をアピール　幼稚園長・吉田さん

東日本大震災で被災した福島県いわき市のさかえ幼稚園長、吉田元さん(44)が1日コースに出場し、自転車仲間に復興の歩みや情熱を語った。

吉田さんによると、さかえ幼稚園では原発事故後、放射能を恐れていわき市を離れる園児が相次いだが、今では震災前とほぼ同じ人数に戻った。

大会に10回以上出場した吉田さんは、能登島のゴール地点の地名佐波町にちなんで長女を「彩波」と名付けるほどのファン。吉田さんは「復興が進むいわき市で22日に自転車大会が開かれる。ぜひ来てほしい」と話した。

力強く走る吉田さん＝輪島市内

20年東京五輪出場　夢見る10代も奮闘　加賀の松永君

2020年東京五輪を夢見る10代も、大人に負けじと懸命にペダルをこいだ。

20歳で東京五輪を迎える松永悠希君(13)＝加賀市片山津中2年＝は初めてチャンピオンコースに挑戦。「自転車一家」に育ち、県内の自転車大会で活躍する松永君は「完走したときの達成感が最高。できれば東京五輪に出場したい」と夢を膨らませた。

家族らに囲まれて笑顔を見せる松永君＝輪島港マリンタウン

運命の花びら

森村　誠一

163

青春の学園　（二十一）

見合いの席上で初めて会った瞬間、直人は相手の女性が雅絵と面影が一脈似通っているのを感じた。

なにげない挙措も、言葉遣いにも、雅絵と通い合うような既視感があった。

彼はその場で、一も二もなく、彼女と結婚することを決めた。相手方も、直人が気に入ったらしい。

縁談は速やかに相整い見合いから一ヵ月後、挙式した。

新婦の父親は大手市中銀行のエリートであり、現在、行内で「表通り」と称ばれる主要支店の支店長をしている。しかも、直人の同学の先輩であった。

直人も東京転勤後、都心の一流ホテルからヘッドハントされて、フロントマネジャーに昇進していた。妻は同学の後輩であった。

雅絵の面影を伝える妻の綾香は、気立てが優しく、謙虚であり、彼を支えて幸福な家庭を築けそうであった。

新婚旅行、結婚後の挨拶やお礼など一通りすませて、ようやく二人差し向かえる家庭に落ち着いた。

直人は幸せであった。雅絵の訃報を聞いた後、こんな素晴らしい女性に出会おうとはおもっていなかっただけに、スタートしたばかりのマイホームが愉しく、貴重におもえた。

仕事柄、帰宅時間は不規則であったが、週末の夜、久しぶりに早く帰宅できて、夫婦差し向かいの夕食をゆっくりと摂った。

食事の間も妻の顔を見ながら、雅絵の新居を訪問したときもてなされた家庭料理をおもいだした。

「そんなに見つめられては、恥ずかしいわ」

綾香が少し顔を傾けて言った。

「どうして？　君を見つめていると、心が安らぐんだよ」

と直人は言った。

「あなたから見つめられるのは嬉しいけれど、あなたの視線は私を見ながら、私を越えて遠くの誰か、あるいは何かを探しているような気がするわ」

綾香の言葉に、直人ははっとなった。確かに綾香と雅絵の面影を重ね合わせている。

「そんなことはないよ。いつも君だけを見ている」

慌てて答えた言葉が、言い訳がましくなった。

「あなたはきっと私の隅々まで見ようとしているのね。でも、これから長い一生を共にするのよ。私はいつもあなたのそばにいます。急ぐことはないわ」

と、綾香は優しい声で言った。

その声がまた雅絵の声につながっていく。

「誰かに私、似ている？　私、高校生のころ、私に少し似ているような女性を見かけたことがあるのよ」

「君に似ているような女性……」

「そのころ実はね、私の父は不倫をしていたの。父は銀行の要所にいたけれど、そのとき娘の私より少し年上の研修生と愛し合い、不倫の関係にあったの。母に察知されて、家庭の崩壊間際までいったとき、父は反省して、その女性と別れたって聞いている」

板垣しゅん・画

物語の世界楽しむ

富山、高岡、射水の3会場　絵本ランド始まる

「とやま元気ワールド・絵本ランド2013」（北國・富山新聞社などの実行委員会主催）は14日、富山、高岡、射水市の3会場で開幕した。絵本の読み聞かせや歌のライブが繰り広げられ、親子が物語の世界を楽しんだ。

富山市のファボーレでは、富大や富山短大の学生が絵本を読み聞かせた。ジブリ映画「となりのトトロ」などでおなじみの歌手井上あずみさんが、ファミリーコンサートで会場を盛り上げた。

高岡市のウイング・ウイング高岡では、劇団飛行船（川崎市）のミュージカルが人気を集めた。アクターズスタジオ金沢・富山（金沢市）のいみず校（射水市）と金沢校の生徒が元気いっぱいの踊りを披露した。射水市大島絵本館では、NHK「おかあさんといっしょ」のお姉さんを務めたきよこさんのライブが行われた。

「絵本ランド」は15日まで、各会場とも入場無料。開場は午前10時から午後5時まで。

絵本を手に取って楽しむ親子連れ＝富山市のファボーレ

消費増税阻止など大会宣言を採択

県労連定期大会

県労連の定期大会は14日、金沢市の県平和と労働会館で開かれ、消費税増税、原発再稼働の阻止などを盛り込んだ大会宣言を採択した。

小倉恵美議長は、非正規雇用の拡大が問題になっているとし「雇用は正規が当たり前の社会をつくるため、労働組合が頑張らないといけない」とあいさつした。役員改選では小倉議長を再任した。新任役員は次の各氏。

▽副議長　楠間諭、山本徳二▽幹事　八田好弘▽会計監査　井上登

橘、池腰さん優勝

吟詠コンクール

日本コロムビア全国吟詠コンクール金沢地区予選大会（本社後援）はこのほど、金沢市の県勤労福祉文化会館で開かれ、118人が2部門で競った。41～70歳の部は橘弘子さん、71歳以上の部は池腰良政さんが優勝した。

橘さん、池腰さん、41～70歳の部準優勝の谷田加代子さんの3人は、12月1日に東京の中野サンプラザで開かれる決戦大会に出場する。

上位入賞の皆さん

▽41～70歳の部　①橘弘子②谷田加代子③北野一美▽71歳以上の部　①池腰良政②千田繁子③北村悠紀久

能登の農林業の歴史などで発表

金大ワークショップ

金大地域連携推進センターと同大地域創造学類の公開ワークショップ「能登の里山と農林業の変容を読み解く～七尾市史に見る人と自然の関係史～」（本社後援）は14日、金沢市のしいのき迎賓館で開かれ、学生2人が能登の農林業の歴史などに関して発表した。

地域創造学類4年の松谷洋明さんは七尾などの農林業の歴史を調査し、農業では昭和30～40年の機械化などについて説明した。金大大学院地域創造学専攻1年の川邊咲子さんは農家が資料館などに寄付した古い農具を学習教材などに活用するよう提言した。

香坂玲准教授が進行役となり、金沢学院大の東四柳史明教授、同市玉川図書館近世史料館の宇佐美孝専門員、米田満本社論説委員らが学生の発表に対して意見を述べた。

中野重治を語る

企画展と講演会　石川近代文学館

金沢市の石川近代文学館で14日、企画展「中野重治　肉筆原稿に見る〈文学者〉として生きた生涯」が始まった。初日は展示を監修した林淑美立教大教授による記念講演会が開かれ、約50人が旧制四高出身で詩人、小説家、評論家として活躍した中野重治の生きざまに理解を深めた。

林教授は中野の人柄や功績を紹介し、社会への批評を展開した中野の理念を解説した。詩の朗読も行われた。展示は11月24日まで。

金沢でパレード

合同学園祭PR　学生団体「創ル部」

学生団体「創ル部」の合同学園祭をアピールするパレードは14日、金沢市中心部で行われ、県内の大学、短大、専門学校に通う学生約40人が来場を呼び掛けた。

学園祭は21、22日、金沢市のしいのき迎賓館で開かれ、ダンスやアカペラなどの催しを予定している。学生は県中央公園前から武蔵ケ辻まで横断幕を掲げて歩いた。

ワークショップで　金沢の用水考える

しいのき迎賓館

国連大学高等研究所いしかわ・かなざわオペレーティング・ユニットの集中シャレット（ワークショップ）は14日、金沢市のしいのき迎賓館で始まった。県や同市職員、学生ら約20人が参加し、金沢の用水や川と、文化の発展、関係について考えた。

参加者は同日、市内の加賀友禅職人を訪ね、友禅流しを学んだ。15日は大野庄用水や加賀毛針の老舗目細八郎兵衛商店を見学する。最終日16日は用水や川をまちづくりに生かす提言をまとめる。

石川の家づくりに、この1冊
家楽 IERAKU+ 2013 AUTUMN PLUS+ Vol.4
60件の施工事例！ 石川最大※の住宅情報誌
※2013年度、石川県内にて発行の住宅雑誌での施工事例件数。
大好評の家楽、ご覧いただけなかった方のために
『家楽』は、好評のうちにサークルKサンクスでの配布を終了しました。
大変多くの方にご覧いただけなかったため、この度『家楽プラス+』として内容を充実して、お求めやすい価格で書店販売します。
CONTENTS
巻頭グラビア　暮らしやすい家は、美しい。　日々の暮らしを豊かに彩る美しい住まいをご紹介いたします。　追加コンテンツ　3邸を15ページでたっぷりご紹介！
家楽特集　能楽師　藪俊彦邸　「茶能一如」の住まいと暮らし
石川の住宅最新施工例　建築家のつくる住まい　住みやすさ抜群！ 暮らしたくなる街
好評販売中
定価300円（本体286円）
「家楽プラス+」は下記の各書店でお求めいただけます。
うつのみや・柿木畠本店、小立野店、金沢百番街店、上林店、金沢医科大学病院店、小松城南店、金沢工大前店
文苑堂書店・示野本店、入江店、鳴和店、TSUTAYA金沢店、TSUTAYA金沢有松店、羽咋店
明文堂書店・金沢ビーンズ、金沢野々市店、能登七尾店、石川松任店、能美店
BOOKSなかだ・柳橋店、小松店、小松大領店、かほく店
勝木書店・金沢泉野店、KaBoS上荒屋店、KaBoS大桑店
北国書林・松任店、アピタ松任店、アルプラザ店、辰口店
ブック宮丸・金沢南店、エムザ店
発行／北國新聞社 広告部　お問い合わせ／TEL.076-260-3571（平日10:00～18:00）

多彩なチャンネル　地域情報も充実
●デジタルスーパーコース（1台）…3990円／月
●デジタルデラックスコース（1台）…5040円／月
金沢ケーブルテレビネット
お申し込みは　0120（751）114
※料金はSTB（デジタル専用チューナー）賃貸の場合。
※加入時には初期費用が別途必要になります。
KCT

北國花火2013
扇台大会　9月15日（日）／午後8時30分から　金沢市扇台小西側周辺
※荒天の場合は中止いたします。
私たちは活力あふれる地域づくりのため北國花火2013を応援しています
兵庫製紙　中越パルプ工業　日本製紙　三谷産業株式会社　大王製紙　日本興亜損保　株式会社石川コンピュータ・センター　サカタインクス株式会社　DICグラフィックス株式会社　伊藤忠紙パルプ株式会社　デュプロ北陸販売株式会社　日本新聞インキ株式会社　富士フイルム グローバル グラフィック システムズ株式会社　第一工業株式会社　アーク引越センター　ダイダン株式会社　新生紙パルプ商事株式会社
（順不同）

大相撲秋場所　本日初日
郷土期待の星　遠藤関を応援しています。
〈順不同〉
穴水町
公益財団法人 石川県体育協会　金沢市稚日野町北二二二番地　電話（〇七六）二六八―三一〇〇番
穴水町体育協会　会長 宮下源一郎
穴水町相撲連盟　会長 中出水剛
穴水町観光物産協会
能登ワイン株式会社　代表取締役社長 村山隆　鳳珠郡穴水町字旭ヶ丘り五―一　電話（〇七六八）五八―一五七七番